

20年度「NIEで磨く国語力」No.1

年 組 番 氏名

弁護士をめざして東京大に通っていた（1）内藤佐和子さんはある日、目が回り、足がふらつく症状に①オソ（襲）われた。イスに座らされて何周も回されてから立ち上がった時のように。難病「多発性硬化症」と②シンダン（診断）された▼文学部から再受験し、法学部に入り直した直後だった。③法曹（ほうそう）の道を断念し、④テンテキ（点滴）で症状を抑えながら別の道を探す。ビジネスコンテストに応募し、故郷を活性化するアイデアを全国の学生から⑤募（つの）る企画を実現させた。自著『難病東大生』も刊行した▼出産をへて、行政の審議会委員を⑥ツツ（務）めるうち、政治への関心が強まる。国會議員らの⑦思惑（おもわく）がもつれる（2）保守分裂の状況下、徳島市長選に挑んだ▼市長選を取材した⑧ドウリヨウ（同僚）によると、当初は演説にぎこちなさも目立つたが、⑨ネバ（粘）り強く支持を広げ、当選を果たした。〈A ちなみに〉小学校の卒業文集に寄せた言葉は「執念」だったという▼女性の市長としては史上最年少の36歳。（3）従来の記録を5カ月ほど塗り替えたが、〈B考えてみれば〉、（4）男性市長ならこれほどの注目を集めなかつたのではないか。裏返せば、日本の政界がなお男性たちに支配されていることの⑩シヨウサ（証左）とも言える▼〈C たとえば〉、（5）北欧フィンランドでは昨年暮れ、34歳の女性が首相に選ばれたが、かの国で女性首相は3人目。閣僚の過半数も女性だと聞く。首相自身、「年齢や性別は二次的なこと。大事なのは政治家として何をするか」と語っている。内藤新市長はさっそく「まちづくりがしたい」と意気込む。徳島からの新風に期待したい。〔2020年4月7日「天声人語〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを書き入れなさい。

問二 次の意味を表す二字熟語を本文中から抜き出そう。

（ア）そうしようと思い込んで、その実現を片時も忘れない心 →（執念）

（イ）古い因習にとらわれない新しいやり方・考え方 →（新風）

問三 傍線部（1）「内藤佐和子さん」の人物像を40字程度でまとめよう。

〔答例〕（弁護士への道を難病で断たれるも、別の道に挑み、日本最年少女性市長となつた行動の人。）

問四 傍線部（2）「保守」の対義語を答えよう →（革新）

問五 〈A〉～〈C〉に適する語を次から選び、書き入れよう。

・ 考えてみれば 　・ たとえば 　・ ちなみに

問六 傍線部（3）「従来の記録」を持っていた女性市長を調べてみよう。

（滋賀）県（大津）市（越）直美（）市長

問七 傍線部（4）「男性市長（ないか。）」の理由を30字程度で考えてみよう。

〔答例〕（日本では多くの市長が男性で、36歳はありふれた年齢だから。）

問八 傍線部（5）に込められた筆者の思いを50字程度で考えてみよう。

〔答例〕（日本政界は男性が支配し、女性首相はおらず、女性閣僚も稀だ。男女格差のない社会に変える必要がある。）

問九 見出しを10字程度でつけてみよう →（内藤佐和子さんの快挙）（最年少の女性市長）